



KOTORIDAYORI

江東リハビリテーション病院

ことうりは便り

KOTO REHA NEWSLETTER

CONTENTS

満床報告

クリスマスメニュー

お正月イベント

外部講師講演会

新任医師紹介

部門紹介 (看護部)

医療連携室 周辺のご紹介



満床報告

お陰様で当院は平成29年11月30日をもちまして198床の回復期病棟が満床となりました。また、12月1日より一般病床8床を回復期病床へ変更し、12月6日には206床が満床となりました。これもひとえに、ご紹介を頂いております医療機関の皆様と当病院の開設にあたり御尽力頂いた皆様のお陰と存じております。今後は回復期リハビリテーション医療の質の向上を図り、一人でも多くの患者さんのお引き受けをさ

せて頂き、可能な限り元の生活に戻って頂けるよう支援して参ります。今年には診療報酬・介護報酬の同時改定でより医療の質の向上や病院同士の連携、介護事業所との連携が求められています。患者さん・ご家族を中心として多くの関係者の方と協力し、患者さんがいつまでもお元気で住み慣れた環境で生活を営めるよう努めて参りたいと存じます。



クリスマスメニュー

栄養科より

メイン料理ローストポークは真空低温でじっくりと調理した自慢の一品です。盛り付けはクリスマスカラーでより艶やかに、サラダは夜空の星をイメージしました。ソフト食や超軟菜食も華やかな仕上がりで楽しんでいただきました。クリスマスランチを食べ終わるころには、サンタクロースに扮した院長と院長補佐がサプライズ登場して、食堂は拍手喝采！粋な計らいに皆さん童心に還って笑顔がこぼれ、今年一番の盛り上がりとなりました。患者さんだけではなく私たちスタッフにとっても素敵な思い出となり、これからの糧となりました。今後も皆さんに楽しんで頂けるイベント食を提供してゆきたいと思ひます。



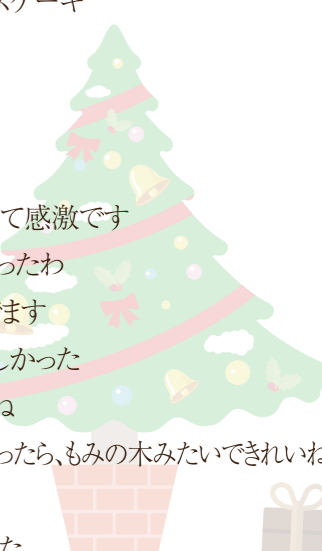
▲ソフト食ローストポーク

▲職員食

- | | | | |
|------|--------------|----------------|------------|
| Menu | ● 主食(ご飯orお粥) | ● ミネストローネ | ● コーンサラダ |
| | ● ローストポーク | ● スナックえんどうのソテー | ● クリスマスケーキ |

患者様の声

- 美味しかったです
- お肉柔らかくて美味しいです
- ありがとうございます
- いつも気にかけてくれてありがとうございます
- 肉って味がするからうれしいです
- 90年生きてて、サンタクロースに会ったの初めてだよ(笑)
- ソースもすごく美味しい(肉禁の方の同意見多数)
- 豚肉のソースがさっぱりして美味しいです
- サンタクロースまで登場して感激です
- ポークなの、ビーフかと思ったわ
- 母が美味しいって喜んでます
- ケーキが2種類あって嬉しかった
- 人参が星形でかわいいね
- 肉がダメだから魚にしてもらったら、もみの木みたいできれいね
- 肉の筋が気になる
- 脂身の部分は少し固かった



お正月

皆様 明けましておめでとうございます。
江東リハビリテーションの新年はとても賑やかになりました。
餅つきや書初めをご入院中の患者さんで行いました。
また、お食事もお正月を感じてもらえるように朝食におせちを提供させて頂きました。今後も皆さんに喜んでいただけるように季節ごとのイベントを考えていきたいと考えております。
今年もどうぞ宜しくお願い致します。



外部講師講演会

第一回 脳卒中の治療とStroke Care Unitの紹介 東京都立墨東病院 神経内科部長 藤ヶ崎浩人先生・太田代看護師



平成29年11月16日 東京都立墨東病院の神経内科部長の藤ヶ崎浩人先生・太田代看護師さんによる「脳卒中の治療とStroke Care Unitの紹介」というテーマでご講演頂きました。動画による脳血管のカテーテル治療場面やStroke Care Unitでの看護やリハビリテーションについて紹介して頂きました。異常の早期発見のため発症早期のバイタルサイン観察の重要性など改めて学び、今後の看護・リハビリテーションの提供に非常に活かせる内容でした。

第二回 ボツリヌス療法について 昭和大学江東豊洲病院 リハビリテーション科 診療科長 笠井史人先生



平成29年12月21日 昭和大学江東豊洲病院リハビリテーション科診療科長の笠井史人先生にボツリヌス療法についてご講演頂きました。ボツリヌス療法は脳卒中などにより麻痺を患った方々の関節拘縮や筋硬直を改善させる目的で行うため、退院時にそのような悩みを抱えている方に一つの選択肢として提供できる内容でした。また、笠井先生には当院の非常勤としてリハビリテーション分野のご指導を賜っています。これからも最先端のリハビリテーションを学ばせていただきたいと思います。

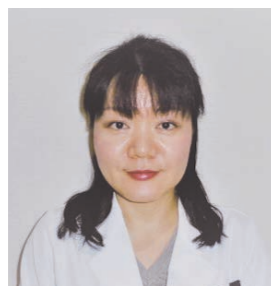
医師紹介



副院長
柵瀬 信太郎

日本ヘルニア学会名誉理事長
環太平洋ヘルニア学会 事務総長 (Asia Pacific Hernia Society Secretary General)
"Hernia"査読委員 日本外科学会専門医
日本臨床外科学会 評議員、役員等選考委員
日本外科系連合学会フェロー会員 日本消化器外科学会 認定医

昭和51年 群馬大学医学部卒
聖路加国際病院 外科レジデント
聖路加国際病院 外科チーフレジデント
アメリカ留学 (ニューヨーク聖路加病院、ニューヨーク ベスイスラエル病院、UCLA)
聖路加国際病院外科医長 消化器・一般外科医長
聖路加国際病院 ヘルニアセンター長を経て現職



医師
相賀 礼子

日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医
日本整形外科学会専門医

平成14年 高知医科大学医学部卒
岡山大学大学院医歯学総合研究科博士課程 修了
岡山大学整形外科・リハビリテーション科
医療法人社団城東桐和会 東京さくら病院 リハビリテーション科を経て現職

部門紹介



看護部の役割は、患者さんの日々の健康管理・状態確認を行いリハビリテーション中の事故を防ぎ、リハビリテーションが効果的に進む様に関わることです。また、生活リハビリテーションとして病棟生活の援助を行っています。患者さん・スタッフ同士のコミュニケーションを図り、日中の離床を目的とし、午前・午後にレクリエーションの時間を設けています。日付けや曜日をお互いに確認し、軽い体操やクイズ、ボウリングや魚釣りゲームなどを行っています。1日の生活の中に、日常生活機能動作訓練を視野に入れ、他の患者さんとの交流による認知機能及び記憶力の活性化など、訓練以外の視点からも取り組んでいます。また、クリスマスやお正月の際には、季節を感じて頂けるイベントを行いました。レクリエーションを通じてリハビリテーションの効果が垣間見えることもあり、患者さんとスタッフのモチベーション向上にもつながっています。

医療連携室から

入院に関する総合窓口業務をはじめ、入退院の調整や相談援助などの医療福祉相談業務、地域福祉機関との連携業務を行っております。
お気軽にお尋ねください。

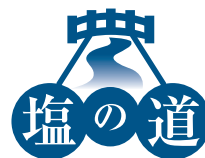


受付時間

月曜日～金曜日
9:00～17:00

相談窓口
1階 医療連携室

TEL 03-6880-1755
FAX 03-6880-1756



江東リハビリテーション病院・周辺のご紹介

すなまちぎんざしやうてんがい

砂町銀座商店街

明治通りと丸八通りを結ぶように東西に延びている。戦前は30軒程度の商店街だったが、1945年の東京大空襲で焦土と化した。戦後に店舗数が増え始め1963年ごろに長さ670メートル、店舗数約180のほぼ現在の形になり、今もなお昭和の色影を色濃く残した下町の商店街である。8月上旬に七夕まつり、毎月10日には「ばか値市」と呼ばれる大安売りを行っている。平日で1日のべ15,000人、休日でのべ20,000人が訪れる。『日本経済新聞』2005年2月5日号の「訪れてみたい商店街」で、巣鴨、横浜の元町に次いで3位に選ばれた商店街。



巣鴨、横浜の元町に次いで3位に選ばれた商店街。



交通のご案内

西大島駅(都営新宿線)徒歩8分
都営バス 大島1丁目・北砂3丁目から徒歩2分

一般社団法人 巨樹の会

江東リハビリテーション病院

TEL 03-6880-1555



〒136-0073
東京都江東区北砂2丁目15-15
FAX 03-6880-1556